

県南支部だより

平成25年5月1日発行 第3号

発行責任者：県南支部長 白石 満

発行者： 事務局長 田村 功

【平成25年度・総会】が開催されました



生田目副支部長の開会の辞

去る4月20日（土曜日）に郡山市労働福祉会館中ホールにおきまして、社団法人福島県臨床衛生検査技師会より大花会長を来賓にお迎えし、平成25年度社団法人福島県臨床衛生検査技師会県南支部定期総会、特別講演会が開催されました。

総会の出席者は会員65名、非会員（新卒入職者）3名、メーカー・ディーラー

12名の合計80名で、会則19条にある構成員の過半数（含委任状）以上の出席を充足し総会成立が確認されました。

議事におきましては、平成24年度事業経過報告、平成25年度事業計画案・学術部活動



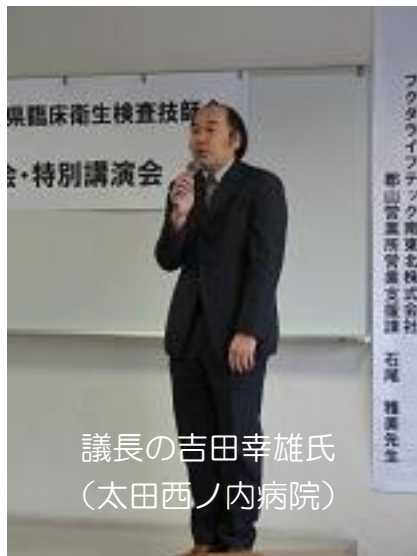
白石支部長の挨拶



大花会長の挨拶



司会の田村事務局長



議長の吉田幸雄氏
(太田西ノ内病院)

案・予算案、などが承認されました。

予算案におきましては、諸学会運営繰越金が新たに一般会計に繰り込まれました。これは過去に県南支部が県学会などを担当した際に、県南支部として使えるよう諸先輩方が残



書記の高木英美氏（白河病院）、
加藤友子氏（保健衛生協会）



してくれたものようです。



武藤副支部長の開会の辞

これらを基に今年度は、若手技師が活発に参加できるような研修会、イベントなどを若手技師とともに企画運営したいと考えております。

そのためにも、運営にいかにか若手技師を参加させるかを考察しております。

更に今年度は、より一層の施設間同士のつながりを強め、学術面、技術面での情報交換を広めたく思いますので、ご指導、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

支部長：白石 満

【特別講演会】が開催されました

私とレスリング ～続ける強さ～ 石尾雅美 先生



石尾雅美 先生

総会に引き続き、フクダライフテック南東北株式会社営業支援課の石尾雅美先生による「私とレスリング ～続ける強さ～」と題した講演会が開催されました。

石尾先生は郡山市出身で7歳から父親の指導のもとレスリングを始めたそうです。中学生の頃から強くなりたいという気持ちが強くなり、高校はレスリングのために父親の勧めもあり東京の高校に進学したのだそうです。

高校では、オリンピック・メダリストの小原日登美選手や山本聖子選手、吉田沙保里選手らとともに練習したり、戦ったりしたそう

で、今でも交流があるのだそうです。友人というだけでもビックリするような名前がどんどん飛び出して来ました。



石尾先生がレスリングを通して学んだこと、それは「基礎の大切さ」「我慢強さ」そして「仲間の大切さ」だそうです。これは我々の職業にも同じ事が言えると思います。コツコツと我慢強く良き仲間と基礎を学び成長する、これこそ人生の基礎なのだと思います。

石尾先生は現在、郡山市の自宅でレスリング教室を開いています。先生がこだわっている指導は「諦めない」「勝ち負けにこだわらない」「負けても教えられたことをきちんとやる」だそうです。

そして抱負としては、

- ・全国に通用する選手を育てる
 - ・全国で優勝できる選手を育てる
 - ・できればオリンピック選手を育てる
- だそうです、とにかくレスリングを長く続けて貫きたいとのことでした。



石尾雅美 先生



先生のレスリングを愛する心、後輩、子どもたちの育成に心から尽力する姿勢がとても強く伝わってきた講演会でした。

我々も臨床検査という職業を愛し、後輩の育成に尽力しなければなりません。そのためにもまず、基礎を我慢強く勉強する姿勢が必要なのです…ということを中心に学んだ講演会でした。

先生、本当にありがとうございました。
オリンピックにレスリング競技が残りますように心から願って止みません。
これからも県南支部一同、応援しております。
ありがとうございました。

See you soon